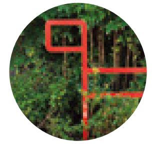
宮城オルレ

宮城オルレ

韓国済州島から始まった徒歩旅行の道「オルレ」が宮城県で始まりました。オルレは、済州の方言で、「通りから家に通じる狭い路地」という意味ですが、歩く道やトレッキングコースという代名詞として使われるようになりました。オルレの魅力は、海岸線や山などの自然、民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くところにあります。宮城オルレは、九州オルレ、モンゴルオルレとともに済州オルレの姉妹版として、壮大な風景と由緒正しい温泉、長い間築いてきた文化と歴史を五感で感じ、体験できる特別なトレッキングです。

標識



カンセ
オルレの象徴であるカンセは済州の方言で、野生の子馬で怠け者を表します。
スタート地点からカンセの頭の方向に進みます。

リボン
日本を象徴する朱色と海に似ている青色のリボンを探して歩きます。見失わない間隔で木の枝や電柱などに結んでいます。

矢印
方向が変わる時などに、木製の矢印や石などにペイントされた矢印があります。青色はスタート地点からフィニッシュ地点に向かう正方向で、朱色はフィニッシュ地点からスタート地点に向かう逆方向で歩くことを表します。

スタンプ
コースのスタート地点とフィニッシュ地点にはスタンプが用意されています。スタンプ欄にスタンプを押してみましょう。

宮城オルレの楽しみ方

オルレの歩き方

民家付近を通る時は、勝手に敷地内に入らないようにしましょう。
住民や私有財産を撮影するときは、必ず同意を得ましょう。
歩きながら出会うオルレクン（歩く人）や地元住民に笑顔で挨拶を交わしましょう。

オルレマナー

リボンを持ち帰ると次に歩く人が道に迷います。
道を案内してくれる標識（カンセや矢印）はさわらないでください。
ゴミは必ず持ち帰りましょう。
道沿いの農作物、花や木は目で鑑賞しましょう。

安全のために

宮城オルレのコース標識（リボン、矢印）に沿って、決まった道を歩いてください。
コースから外れた急傾斜地等での危険な行動は控えてください。
トレッキングに適した服装と靴を着用してください。
車道を歩くときは、車に気を付けて歩きましょう。
台風、豪雨、豪雪などの天気が崩れたときは、歩くことを自制してください。

オルレ服装

リュック 日帰りなら20～25ℓくらい、1泊以上なら30ℓくらいが良いです。リュックを背負うときは、腰のベルト、胸のベルトの順で締め、肩のひもを引っ張って、リュックが肩にぴったりなるようにすると負担がかかりません。

登山服 トレッキング用のウェアは、体を温めたり、汗を早く逃がしてくれる機能があるため、歩いたり、休んだりするときに体温維持に役立ちます。ウィンドブレーカーや帽子や、レインコートを準備すると良いです。

靴 オルレコースでは、履きなれたミッドカットやトレッキング用の靴が良いです。

※ 詳しくはスポーツ用品店、アウトドアショップでお問い合わせください。

宿泊

●「鳴子観光・旅館案内センター」（年中無休）

電話◎0229-83-3441
住所◎大崎市鳴子温泉字湯元2-1
※鳴子温泉郷は、環境省指定の「国民保養温泉地」です。
旅館、ホテルなど多くの温泉施設は自家源泉を有し、多彩な泉質を楽しめます。
また、湯めぐりに便利でお得な「湯めぐりチケット」もあり、宿泊をしなくても気軽に旅館と共同湯のお風呂を楽しむことができます。
http://www.naruko.gr.jp/

湯めぐりチケット
販売所◎旅館又は鳴子温泉駅の観光・旅館案内センター
料金◎湯めぐりチケット1,300円（手形付き1,650円）

飲食店

●鳴子峡レストハウス

電話◎0229-87-2050
住所◎大崎市鳴子温泉字星沼13-5
営業時間◎8:30～17:00
◆うどん、そば、カレー
◆冬季間休業（11月下旬～4月下旬）

●ゑがほ食堂

電話◎0229-83-3074
住所◎大崎市鳴子温泉字湯元2-4
営業時間◎9:00～20:00〈16:00～17:00休憩〉
◆温卵カレー、山菜きのこそば
◆不定休

●たかはし亭

電話◎0229-81-1510
住所◎大崎市鳴子温泉字新屋敷121-1（鳴子郵便局前）
営業時間◎10:00～15:00
◆鳴子焼蕎麦おくずかけ、温卵カレー
◆水曜、木曜定休（祝祭日除く）

●板そば　藤治朗（とうじろう）

住所◎大崎市鳴子温泉星沼9-10
営業時間◎11:00～14:30※そばがなくなり次第終了
◆板そば、鴨汁板そば
◆不定休

●まるぜん

電話◎0229-83-2202
住所◎大崎市鳴子温泉字湯元109-1
営業時間◎11:00～15:00
◆温卵カレー、山菜そば
◆不定休

●笑喜家（わきち）

電話◎0229-25-3982
住所◎大崎市鳴子温泉字尿前87-3
営業時間◎11:30～14:00
◆かつ丼、ラーメンセット
◆月曜、不定休

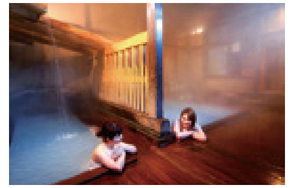
●軽食・喫茶　まるゆ

電話◎0229-82-2233
住所◎大崎市鳴子温泉字湯元2-1
営業時間◎9:00～16:00
◆なつかしのナポリタン、温卵カレー
◆不定休

鳴子温泉郷の公衆浴場

●しんとろの湯

電話◎0229-87-1126
営業時間◎9:00～21:30
料金◎大人440円、小人（小学生）220円
◆無休

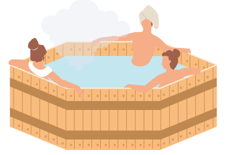


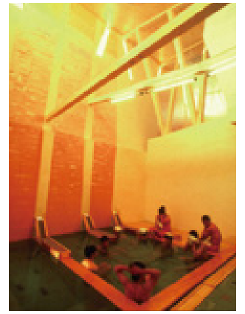
●滝の湯

電話◎080-9633-7930
営業時間◎7:30～22:00（最終入館21:30）
料金◎大人200円、小人100円
◆無休

●鳴子・早稲田桟敷湯

電話◎0229-83-4751
営業時間◎9:00～21:30（最終入館21:00）
料金◎大人550円、小人330円
◆無休





アクセス

公共交通機関 列車

仙台空港 出発 → 仙台空港アクセス線 最短約17分 → JR仙台駅 → 東北新幹線 約13分 → JR古川駅 → 陸羽東線 約55分 → JR 中山平温泉駅 → 徒歩 約30分 → 到着 鳴子峡レストハウス

※JR鳴子温泉駅から鳴子郷レストハウスまで、タクシーで約10分（運賃約1,600円）

公共交通機関 バス

仙台空港 出発 → 仙台西部エアポートライナー 約35分 → JR仙台駅 → ミヤコーバス 鳴子行 約90分 → ミヤコーバス 鳴子温泉車湯停留所 → タクシー 約10分 → 到着 鳴子峡レストハウス

自家用車

●仙台空港▶仙台空港I.C（仙台東部道路・東北自動車道〈約45分〉）▶古川I.C▶（国道47号〈約45分〉）▶鳴子峡レストハウス

タクシー

- 鳴子タクシー Tel. 0229-82-2511
- 鳴子中央タクシー Tel. 0229-82-2244
- 中山平タクシー Tel. 090-4042-3744
- 川渡温泉タクシー Tel. 0229-84-7044

宮城オルレ

MIYAGI OLLE

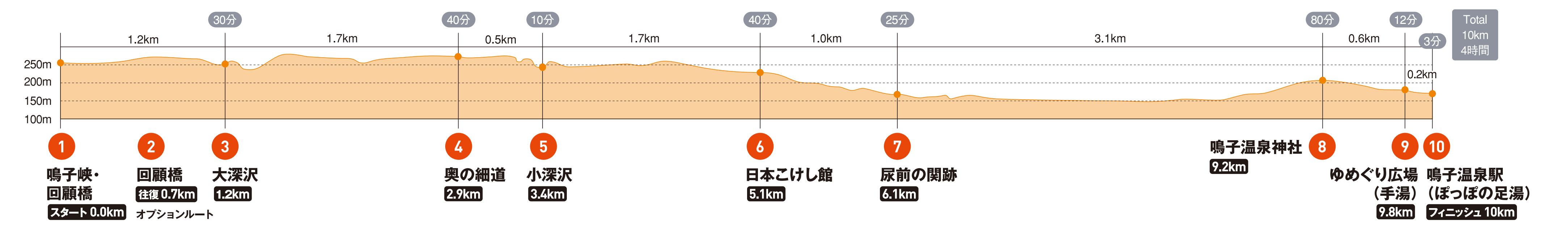
宮城オルレ　検索

https://www.miyagiolle.jp

お問合せ先
大崎市産業経済部観光交流課
Tel. 0229-23-7097

MIYAGI OLLE

大崎・鳴子温泉コース

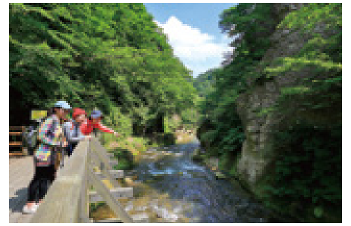


MIYAGI OLLE

大崎・鳴子温泉コースのみどころ

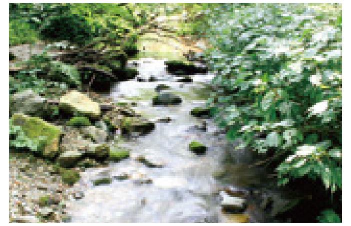
❶ 鳴子峡

名勝「鳴子峡」は、5月上旬から鮮やかな新緑が次々と芽吹き、10月中旬から11月上旬にかけては、大谷川が刻んだ深さ100mの大峡谷が赤や黄色の美しい紅葉に染まります。峡谷の両側にある、様々な形の岩肌が間近に感じられ、季節によって移り変わる風景も見所の一つです。



❷ 回顧橋

コースのオプションルートで、大峡谷「鳴子峡」を下から眺めることができるスポットです。急な坂道もありますが、岩肌を間近に感じながら見る景色は格別です。（折り返しの約700m）

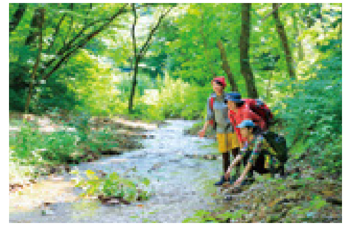


❸ 大深沢

「奥の細道」最大の難所とされた場所。現在は、当時の面影を残しつつも橋も整備されている。暑い日には、川の流れが涼しさを運んでくることを感じられます。

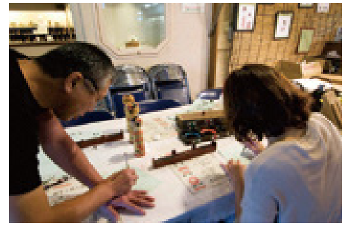
❹ 奥の細道

史跡「出羽仙台街道中山越」の名称で国の文化財に指定された松尾芭蕉ゆかりの道。俳聖芭蕉の足跡を慕って訪ねる旅人が絶えません。人生を旅そのものと捉えた松尾芭蕉が生前残した俳句があります。「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」



❺ 小深沢

小深沢は、大深沢に次ぐ険しい沢の一つ。深い谷底へ下りて越さねばならない九十九折りの道。直接、川の流れに触れることができるスポットです。



❻ 日本こけし館（鳴子公園内）

東北各地のこけしが展示されており、木地挽きやロクロ描彩などの製作実演のコーナーや自分だけのオリジナルこけしが作れる絵付け体験（有料）もできます。また、鳴子公園からは鳴子温泉の街並みが一望できます。

❼ 尿前の関跡

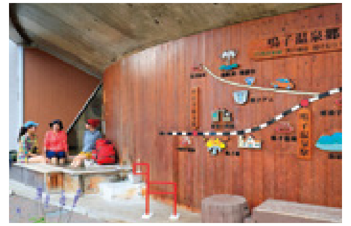
1689年に芭蕉とその弟子の曽良が厳しい取り締まりを受けた仙台藩の番所。近くには、芭蕉の像や句碑もあり、歴史の流れを感じることができます。

❽ 鳴子温泉神社

平安時代からその名が都にも知られていた温泉神社。この神社より温泉が湧出し始めたのが鳴子温泉の始まりと言われています。

❾ ゆめぐり広場（手湯）

気軽に温泉の湯ざわりが楽しめる「手湯」と回廊を備えたゆめぐり広場。また、ゴールには足湯もあるので温泉街の雰囲気を存分に味わってみてください。



❿ 鳴子温泉駅（ぽっぽの足湯）

ゴールになる鳴子温泉駅にある「ぽっぽの足湯」は、ヒノキ造りの浴槽で、歩き疲れた足をいたわり、座ってゆったりと語らいを楽しむことができます。

MIYAGI OLLE TRAIL

大崎・鳴子温泉コース

大自然の恵みと悠久の歴史に包まれ
湯の香り漂う癒しの路

距離 10km｜所要時間 約4時間｜難易度 初級

東北屈指の大峡谷・鳴子峡から、日本を代表する俳人「松尾芭蕉」など多くの歴史的人物が歩んだ奥の細道を通り、足湯がある鳴子温泉駅までの約10kmのコースです。鮮やかな新緑の春から、美しい紅葉に染まる秋まで、季節によって変わる風景や名所旧跡、温泉街の風情と暮らしに触れることができます。

スタンプ設置場所

スタート：鳴子峡レストハウス
（冬季間休業（11月下旬～4月下旬）・営業時間:8:30～17:00）

フィニッシュ：鳴子温泉駅（ぽっぽの足湯）内 鳴子観光・旅館案内センター
営業時間：8：30～18：00

注：コースは11月下旬～4月下旬まで閉鎖となります。
熊が目撃されている地域を通りますので、ご注意ください。
鳴子峡レストハウス駐車場は、10月上旬から11月上旬にかけて有料となります。

Stamp here

スタート

フィニッシュ